

第1回総合減災プロジェクトエリア特別講演会(DRM Colloquium)を開催しました (2017/3/27)

テーマ: ソーシャルキャピタル、復興とレジリエンス、総合減災エリア特別講演会
場所: 災害科学国際研究所

2017年3月27日(月)、総合減災プロジェクトエリア特別講演会(DRM Colloquium)の第1回目の開催に、米国ノースイースタン大学のDaniel Aldrich(ダニエル・アルドリッチ)教授をお招きし、ご講演頂きました。

演題は、”The Role of Social Networks in Japan’s 3/11 Disasters (3.11においてソーシャルネットワークが果たした役割)”で、避難時におけるコミュニティ内の横のつながりと津波から命を救ったデータの相関や、復興時におけるコミュニティ・行政間の縦のつながりと復興推進の相関、また同復興時におけるコミュニティ内の横のつながりと精神疾患の相関について、東日本大震災での被災地を対象に調査した結果を共有いただきました。さらに、これらの結果より、行政は、構造物支援に限定せず、社会インフラも視野に入れた支援を行うべきとの提言が有りました。

講演後は、約20名の参加者と共に30分を超える活発な質疑応答とディスカッションを行いました。



文責: 井内加奈子(人間・社会対応部門)

写真: 今野由美(人間・社会対応部門)